



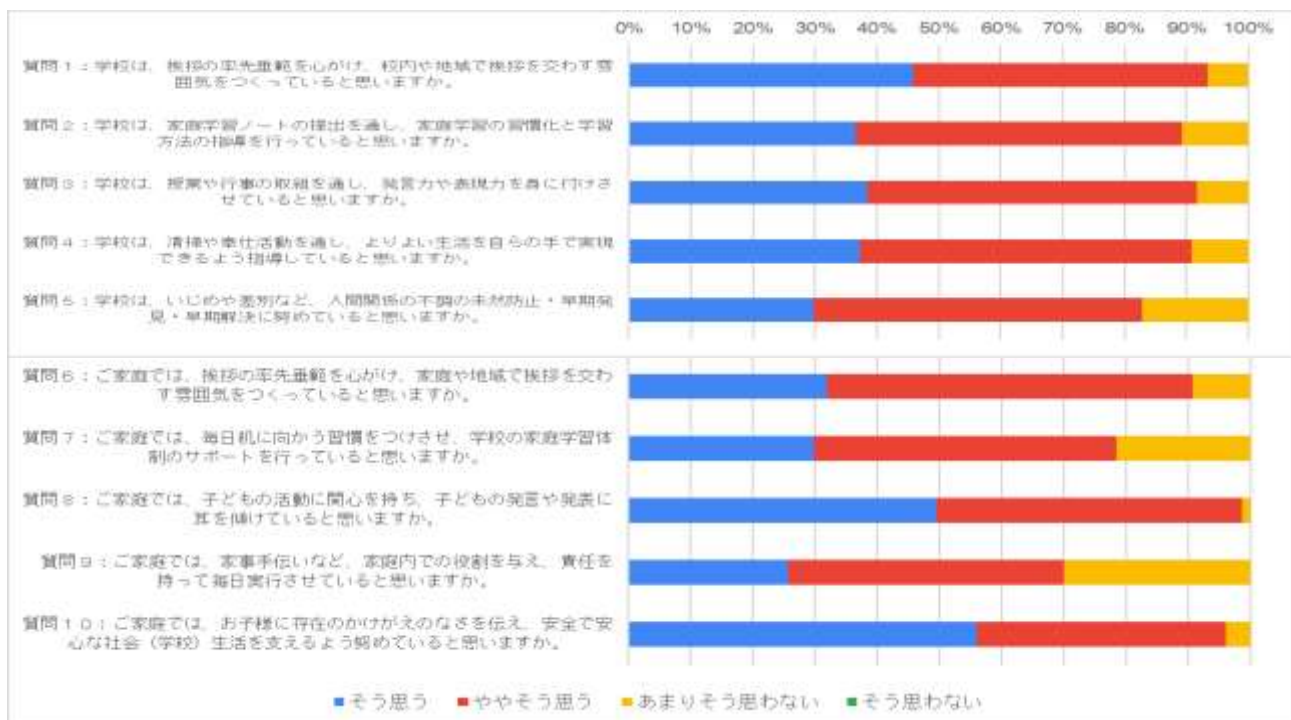
数々の実績を残し2学期終了

全国中学校総合文化祭岩手大会の影響で例年よりも遅く始まった2学期でしたが、85日間の充実した日々を積み重ね、本日無事に終了しました。思い起こすと様々な出来事があり、「あっという間だった」と感じます。感染症対策を講じながらの生活でしたが、保護者の皆様のご協力のもと、予定した学習や行事をすべてやりきることができ、安堵しています。ありがとうございました。

2学期には、生徒達の努力が各方面で評価され、部活動や文芸面での活躍が相次ぎました。とても嬉しく思います。それと同じくらい嬉しかったのは、生徒達が見せた地域貢献でした。登校途中に怪我をした小学生を介抱したり、校外で合唱や合奏を披露したり、北中生の素敵な姿に感動しました。これからも、そのような姿をたくさん見せてほしいです。



【速報】まなびフェスタアンケート結果



GoogleForms を活用して行った保護者アンケートは、紙面提出と合わせて230家庭から回答が寄せられました。(回答割合 63.9%) 生徒分の内容とあわせ詳細の分析はこれからですが、前年度をやや下回る数値となりそうです。ご協力ありがとうございました。

2 学期終業式の校長あいさつ

新型感染症が県内にも広がり、不安の中始まった2学期も、感染者無しの日がどんどん更新され、安心の中で終了を迎えました。マスク生活は依然として続いています。大きな事件や事故も無く、皆元気で今学期を終了できることを嬉しく思います。

さて、皆さんにとって、85日間の2学期は、どのようなものだったでしょうか。

何と言っても印象に残ったのは銀河祭でした。3年生の合唱が素晴らしかったのは当然として、それに追いつこうと練習を重ねた2年生や1年生の合唱も見事でした。北中の合唱文化のレベルの高さにただただ感心しました。

スポーツの大会やコンクールでも活躍が続きました。特設駅伝部女子の東北大会4位や特設合唱部女声の全日本合唱コンクール金賞は、本校だけでなく矢巾町民全てが喜ぶ快挙でした。また、県新人戦で陸上部の男子が総合で2位となったことも、本校の運動レベルが県のトップレベルにあることを示してくれました。この他にも、「わたしの主張」で地区最優秀賞に輝いた川向杏奈さん、「人権尊重に関する意見発表会」に本校を代表して参加した昆滯璃さん、「税の作文」で会長賞を頂いた小田航太郎さんと高橋優陽さん、人権作文で岩手日報社長賞を頂いた佐々木優良さん「歯・口の健康に関するコンクール」のポスター部門、銅賞の下河原陽由さんなど、文芸面での活躍もたくさんありました。

毎日の学習で忙しい中でも、「5つの合言葉」を実行し、文武両道を体現してくれた北中生全員に賞賛を送りたいと思います。本当によく頑張りました。

そしていよいよ明日から冬休みが始まります。17日間と短く、年末年始の休みもあるので、あっという間に過ぎてしまうかもしれません。受験生の3年生はもちろん、1、2年生も学習計画をしっかりと立て、確実に実行する冬休みにしてほしいと思います。感染症による移動制限も解除され、遠くにいる親戚の方々も帰省し、楽しい食卓を囲むこともあるかとは思いますが、日々の健康管理をしっかりと行い、1月11日の始業式には、全員が元気に登校することを望みます。充実した冬休みを過ごしてください。